オゾン水生成装置『サニアクリーン SC-0410』

「オゾンガス・オゾンフォーム・オゾン水」3つの柱で業界No.1を目指す。

※細かな塵埃の飛散する環境、あるいは高湿度の環境は避けてください。

■簡単操作で高濃度オゾン水!!

スイッチのON/OFFだけの簡単操作で、1ppm（水温20℃）の高濃度オゾン水を生成。

■安全!!

溶け残ったオゾンガスは、再度オゾナイザーへ（新開発サーキュレーションミキサー）戻すため、排オゾンガスが出ません。

■低コスト!!

PSA・乾燥剤・活性炭などの消耗品はなく低コストです。（定期的にオゾナイザのリサイクルは必要です。）

商品名／形式品名	サニアクリーン / SC-0410
オゾン発生方式	無声放電方式
オゾンガス原料	水中の溶存酸素
原料水水圧	0.1～0.4 MPa
オゾン水流量	3～12［ℓ/min］（水量調整レバー開）
オゾン生成量	約420［mg/h］（水温20℃）
オゾン水濃度	1.0［mg/ℓ］（水温20℃ 水流量7［ℓ/min］時）

運転制御方法	押しボタンスイッチ、または供給水栓開閉時、オゾン水生成
本体電源電圧	AC 100 V（50/60 Hz）
本体消費電力	約65W
本体外形寸法	275（W）×160（D）×350（H）（突起物含まず）
重量	約11kg
使用温度範囲	0～40℃
外部接続方法	給水口：Rc1/2ソケット、オゾン水出口：Rc1/2ソケット

●その他のオゾン製品ラインナップ

フォームクリーン

オゾンガスの手軽さとオゾン水の除菌力を併せ持つオゾンフォームが、衛生管理の新スタイルを提案します。

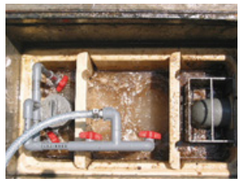
仙水シリーズ

グリーストラップ改善装置。清掃頻度及び臭気を軽減。

サニアクリーンシリーズ

オゾン水生成器。安定したオゾン水濃度を生成することで、食品の洗浄から幅広く使用でき残留性もなく安全。

手洗い・器具などの除菌



利用イメージ

※本商品は薬事法における医療用具ではありません。

●オゾン関連商品の使用上のお願い

オゾン関連商品のご使用にあたっては、製品取扱説明書、もしくは販売店の指示に従い、商品の特徴を十分ご理解いただいたうえで正しくお使いください。事故や災害の原因になりますので十分ご注意ください。
※改良のため、予告なくデザイン・仕様等を変更する場合があります。

■開発・製造元
オーニット株式会社
〒709-0721　岡山県赤磐市桜が丘東3-3-765
TEL086-995-9155　FAX086-995-9156
http://www.ohnit.co.jp

※仕様等につきましては予告なく変更する場合があります。
2014.8現在 Z02-SC0410-651-1

Challenge to the future ── オゾンの可能性を科学する

オゾン水生成装置

Sanja Clean

オーニット株式会社 OHNIT

高性能・安全を実現した次世代のオゾン水生成機　サニアクリーン SC-0410

オゾン水のトリプル効果

除菌　消臭　鮮度保持

オゾン水のメリット

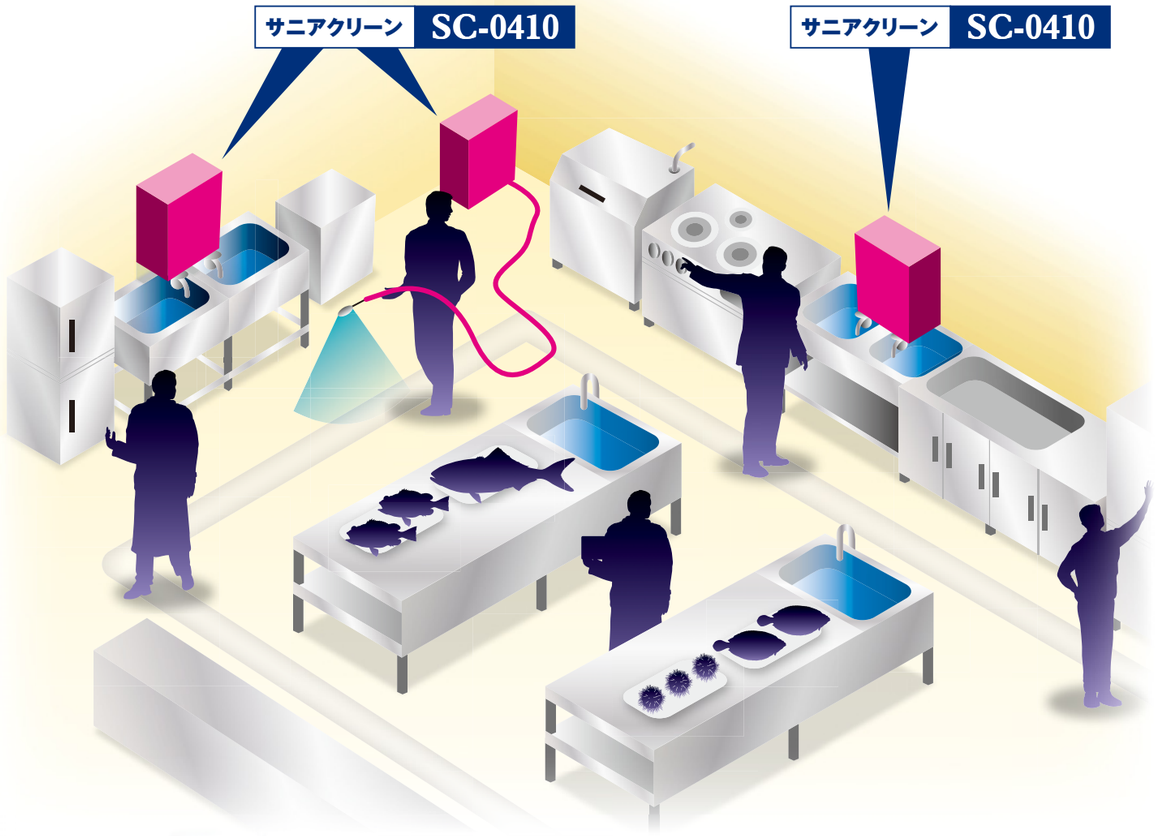
安全

薬剤と違い、残留性がありません。食材、器具など様々な用途にご利用いただけます。

低コスト

原料は、水道水と電気のみ。薬剤の補充、ストックなどの手間もありません。

●厨房での設置イメージ



●各種除菌剤の99%不活性化CT値（mg･min/L）

除菌剤	腸内菌	ウィルス	芽胞菌	アメーバシスト
オゾン水	0.01	1	2	10
次亜塩素酸	0.2	5	100	100
次亜塩素酸イオン	20	>200	>1000	1000
モノクロラミン	50	1000	5000	200

日本医療･環境オゾン研究会会報,増刊3号,2007年4月より引用

●オゾン水の除菌効果

菌　名	試験前※	除菌後 (30sec)	除菌後 (1min)
①大腸菌:Escherichia coli (NCTC9001)	5.0×10^5	0	0
②サルモネラ菌:Salmonella abony (ACM5080)	4.6×10^5	1	0
③緑膿菌:Pseudomonas aeruginosa (NCTC12924)	3.3×10^5	0	0
④黄色ブドウ球菌:Staphylococcus aureus (NCTC10788)	2.3×10^5	0	0

※添加した菌液の菌数を測定し、試験前の菌数に換算した。

試験機関:(公財)岡山県健康づくり財団

■本体概要

■オプション品

●シャワーホース /ONT-3H02

●設置台 /ONT-3T01

●フットスイッチ /SC-FS01

●フレキノズル /SC-FN01